

子宮がんには、頸部がんと体部がんがあります。特に、子宮頸がんでは年間2,700人が亡くなっています。このがんの原因はHPV（ヒトパピローマウイルス）によるものと分かったのです。主に性行為によって感染するので、20〜30歳代に増えています。

その感染を70%予防できるというワクチンが現在2種類使われています。両者共に3回に分けて6か月以内に接種し終わるものです。

ところが、ごくまれに副作用として痛み、しびれ、痙攣、失神などが報告されており、厚生労働省でその副作用がワクチンによるものか因果関係を調べています。したがって、現在のところ「定期接種は中止しないが、積極的には勧めない」という状況です。接種は有効性と副作用が起きるリスクを十分に理解した上で受け、受けた際は、注射後必ず30分くらい待合室に居てください（中学1年〜高校1年生は、市の助成により無料で接種ができます）。

このワクチンは、体に免疫を与えておくことにより子宮がんにかかりにくくするもので、決してがんの進行を遅らせたり、治療するものではありません。HPVは前述の様に性行為により感染するもので、80%の人が

感染を経験しています。そのうち、90%は自然に排除されますが、残りの10%が前癌病変になり、さらにその一部が癌になります。

HPV感染から前癌病変になるまでの期間は約5年、あるいはそれ以上だといわれています。前癌病変の段階で見つかれば、子宮頸部の円錐切除術という治療法で子宮を温存することができですが、癌が進行すると子宮全体を摘出し、周りのリンパ節や卵巣も切除する必要があります。また、放射線療法や薬物治療を行うことで妊娠や出産にも影響が出ます。さて、前癌病変の段階で見つける重要な検診は細胞診です。今までは結果をI〜Vに分類し、I・IIは良性、IV・Vは悪性、III a・III bは疑陽性とされてきましたが、現在では「ベセスタシステム」というよりきめ細かく厳しい分類法に変わりました。

まず、標本が適切かどうかをチェックし、不適正であれば再検査となります。また、今まで2段階だった疑陽性は4段階に細分化され、偽陰性も拾う、いわゆる「とりこぼし」がなくなりまし。特に、ASC-US（意味不明な異型扁平上皮）が設けられ、この判定が出た場合はHPV-DNA（核酸同定検査）の保

険適用が認められるようになりまし。細胞診とHPV-DNA検査がそれぞれの不足を補い合うことができるので、今後、併用検査は、①要3年後検診、②要1年後検診、③要精密検査の3通りにトリアージ（選別）する傾向になると思います。

細胞診は子宮頸部の細胞をこすって採るだけなので決して痛い検査ではありませんが、残念ながら、日本の子宮がん検診の受診率は先進国の中で最下位です。平成24年度の子宮がん検診受診率（20歳以上）は、朝霞市18.8%、志木市20.7%、和光市24.2%、新座市15.9%であり、ちなみに全国では21.3%、埼玉県19.4%です（妊娠健診にがん検診が組み込まれましたが、このデータには含まれていません）。

市ではらつきはありますが、これは人口構成にもよるものだと思います。また、20〜40歳の5年刻みの女性に送られてくる女性特有のがん検診の無料クーポン券を利用する方が多く、やや受診率を高めています。

以上、各市で3・4月を除き市の助成で子宮頸部がん、子宮体部がん（不正出血、褐色帯下、月経異常等の症状がある人）の検診をしています。皆さんごとく早期発見、早期治療のために子宮がん検診を受けましょう。

日曜・休日に実施している医療機関

午前10時〜午後4時

月日	場所	施設名	科目	☎(048)	場所	施設名	科目	☎(048)	
12	1	新座	新座中央通り診療所	内・小	473-3331	志木	志木江原耳鼻咽喉科	耳	473-7929
	8	志木	柳瀬川駅前クリニック	内・呼内・循内	486-6201	朝霞	宮戸クリニック	外・内・整外・肛	474-5103
	15	朝霞	石原クリニック	消内・内・外・肛	486-1890	朝霞	北朝霞藤管眼科	眼	474-1417
	22	新座	野火止クリニック	内・小・循内	479-5698	和光	和光駅前皮フ科	皮・アレ・美容皮膚科	450-1102
	23	朝霞	富岡医院	内・循内・小	461-7581	新座	いしもと脳神経外科・内科	脳外・内	483-7111



※当番医は変更になる場合もあります。確認してからお出かけください。

※12月の休日歯科応急診療所

実施日 12月1日(日)・8日(日)・15日(日)・22日(日)・23日(月・祝)・29日(日)・30日(月)・31日(火)

受付時間 午前9時〜11時30分

場所 新座市休日歯科応急診療所（新座市保健センター）

診察料 健康保険法の規定料金（保険証を必ずお持ちください。）

問い合わせ ☎048-481-2211

※救急医療のお問い合わせ

●埼玉県救急医療情報センター ☎048-824-4199

●埼玉県南西部消防本部 ☎048-460-0123

※小児救急電話相談

●#8000（携帯電話からも相談可能）

☆今月の主な保健衛生週間行事予定 1日〜25日は「海外たすけあい運動」です。